

☆第6回策定委員会でみなさまから頂戴した質問・意見を下記のとおりまとめました。

【質問】

○建設候補地に国見小学校を入れた理由は？

→構想策定について各方面に説明した際に、小学校の件が話題に上っており、建設候補地を決定するにあたって、基本計画の中で財政面を含めた諸条件を整理することで、最終判断をしたいとの考え方からです。

○5-2学園整備の方針（P.43）について、国見といえば… の学園を（3）から（5）に変更した理由は？

→国見といえば… の学園については、これまでの「国見学園」としても実施してきた学びを継承する内容であるため、整備方針の最後にまとめ直しました。

○今ある施設はどうなるのか？

→建設候補地を決定したのちに、町全体で検討していきます。参考までに、前回国見小学校に統合した際は、小学校統合後に跡地利用検討委員会を立ち上げ、協議を行いました。

○くにみ学園建設にあたり、町民から寄付を募るのか？

→現段階では検討していません。

○建設候補地ごとに、金額はどれくらい差があるのか？

→具体的な金額については、基本計画の中で、諸条件を整理し算出します。その内容を含め、建設候補地を決定していきます。また、各種補助金についても基本計画において整理をしていきます。

【意見】

□以前にも話をしたが、建設候補地がどこに決まるかによって子どもたちの通学方法が変わり、そのことが健康にも影響を与えるため、実際に通学する子どもの姿を想像して候補地選定をしてほしい。

□構想（案）の方向性としては良いと思う。今後、町の教育の軸となるカリキュラム設計が大切になる。

- 幼児教育の観点からすると「遊び」と「学び」の関係は大切な視点である。
ただし、幼児教育からすると当たり前の観点である「遊び」から「学び」へのつながりが理解されづらい状況にあると感じる。
- くにみ学園になった場合、バスや自家用車、自転車、徒歩等色々な通学方法が考えられるので、安全面を重視してほしい。
- 第5章（P.42）の文頭の文章が分かりづらい。なぜくにみ学園が必要なのかが伝わらないため、0歳～15歳のつながる学びの必要性を具体的に記載すべき。
- 0～15歳のつながる学びを実践することで、子どもたちは町に育てられていると感じられるのではないか。また、前期課程の子が後期課程の子を見て憧れの気持ちを持ったり、後期課程の子が子ども園の子を見て関わり方を学んだりと、お互いの存在を実際に見ることが子どもたちの成長につながり、大きな学びを生みだす。学びに向かう力やチャレンジする力が小さい子にも伝わっていく。
- 不確実さを受け入れる力が今の教育では難しい。ここがくにみ学園にする根拠となるのでは？
- 社会の状況は必ず変化する。町として学園に対するコンセプトがぶれないようにならなければならない。
- 1～3考慮すべき社会の状況（P.6）に関して、Society5.0 や SDGs よりも「VUCA 社会」というキーワードがより適切であると感じる。不確定、不確実な社会だからこそ自分の解が必要であり、そのために探究の学びが求められている。不確実な社会においては、年齢・学歴に関係なくチャレンジできる環境であり、チャンスである。
- コンセプトとして、なぜ0～15歳なのか一言で現わせると良い。参考として「異齢共学」というキーワードがある。
- 1～3（P.6）について、VUCA 社会や第4次産業革命という視点もあるが、国見町の地域問題や課題、変化について記載しても良いのでは？このまま何も手を打たずにいると大変なことになる。という危機感からくにみ学園を作るという説明も考えられる。0～15歳が一つの場所で学ぶことについての強いメ

ッセージが第5章の文頭にあればよいか？国見町をより良くするための子どもを育てるくにみ学園とするというメッセージもあり得る。

□5－2（1）③について、つながる学びを提供するとあるが、提供ではなく一緒に作るという意味合いが良いのでは？また、（2）③は言葉を逆にし、学習の質を高めるためにICTを活用するとした方が納得できる。

□幼稚園で食育の授業があり、育てたオクラをみんなで食べたらおいしかったということで、家でも育てて食べたが、おいしくないと感想で、幼稚園でみんなで育てたからこそおいしく食べられたのだと思った。また、小学校でもみんなで育てたさつま芋で鬼まんじゅうを作り、おいしかったとのことで家でも作った。そういう学校での体験が子どもたちの自信や学びにつながればよいと思う。

◆なぜくにみ学園が必要なのか？という根拠として、①不確実性、VUCAに向かう力が必要で、延いては国見町をよくすることにつながること。②今町が感じている危機感を理由として有効に使うこと。③コミュニティの核としてのくにみ学園。という3点が挙げられた。